

かわばたの風

12月の予定 1~11日 事業所休業 12日 工賃支給日 14日 避難訓練 24日 クリスマス会 25日 工賃会議

将来のデザイン

管理者 太田 さとみ

東日本大震災から10年が経ちました。福島県の原発から、少しでも離れた安全な場所という選択が北海道だったのですが、こちら（いわき市）ではなかなか賛同を得ることはできません。いつも何故「北海道」なんだと、お叱りやご心配をおかけしている状態です。観光では人気のある北海道ですが、住むとなると明確に意見が分かれます。住み慣れた土地から離れるにはそれなりの覚悟がいります。ましてや利用者の「終の棲家」を北海道のこの地で叶えようとするのは無謀と言われても仕方ありません。しかし、思いを遂げる努力をしたとも言わずしてなんで白旗を挙げられようか。親として最後の仕事か。「親亡き後の施設」です。

故郷は自分の生まれた場所だったり、住み慣れた土地だったり、人間関係を構築した場所だったりします。しかし、障がいの子にとつての故郷は「愛してくれる母や父の顔」があるところと言つてもよいのではないかと思います。しかし、親はいつまで生きられるでしょうか。老人ホームは何百人待ちと言われ空きがありませんが、それと同じ状態が障がい者の行先であります。親も子も、人生の最期はこれで行くと思える計画を実現したいものです。どうか、行くところがないからどこでもいいと言わないでほしいのです。ご自身が元氣なうちに、子供の将来をデザインして下さい。

初雪の便りが届くようになった頃、北海道でも新型コロナウイルス感染症患者が増えてきました。札幌市が増えていましたが、現在は、全道各地に分散しており、川端でも近隣の町村からの感染者が出たとの情報があります。

「Go to トラベル」「寒さによる密閉」「人々がコロナ禍に慣れてしまってきた」等々の原因があげられていますが、そればかりではないようです。感染者の増加を受け、北海道は感染防止の集中的な対策期間を12月11日まで延長しました。通知によりKAKA's FACTORYも臨時休業の運びとなり、利用者さん、職員とも自宅待機です。



駅前トイレ清掃終了

今年も利用者さんの清掃作業として委託を受けていた川端駅前のトイレは、冬期間閉鎖されます。利用する方が不快な思いをしないようにと頑張りました。

▼11月、川端の朝は積雪と見間違えるほどの大霜です。校庭は一面真っ白になり、思わず外に出ました。つい幼心(?)が出て霜柱を踏みつけて壊してやる!!と、腕まくりならぬ足まくりをし、壊れる首をリズムに乗せ、爽快感は寒さを凌ぎました。

▼霜月の末でも積雪のない事業所周辺を見るのは、北海道に来て初めてです。来月、師走に入ると、校庭も綺麗な銀世界になるでしょう。

風だより

☆ ^{こんげつ} ^{ちゃかい} 今月のお茶会 ☆

^{こんげつ} ^{ちゃかい} 今月のお茶会は、みんなでホットケーキを^{つく}りました!



ほく ^{てつだ} 僕もお手伝いするよ!



いっしょ 一緒にがんばりました!



^{がつ} ^か ^{はつゆき} ^ふ 11月10日に初雪が降りました。

^{がつ} ^{こうよう} ^み ^は ^お 10月まではまだ紅葉が見られたのですが、葉もすっかり落ちてしまいました。

^{はつゆき} ^{すいぶん} ^{おお} ^と 初雪は水分が多くすぐに溶けてしまいましたが、だんだんパウダースノーになり

やがて^{ねゆき} 根雪になっていきます。いよいよ、^{ほんかくてき} ^{ふゆ} ^{とうらい} 本格的な冬の到来です。



^{がつ} ^{にち} 10月30日



^{がつ} ^か 11月10日